



内閣府（防災担当）

# 大規模噴火時の広域降灰対策検討 ワーキンググループ（第2回） 議事要旨

## 1. 日 時

平成30年12月7日（金）15:00～17:00

## 2. 出席者

藤井主査、石原委員、伊藤委員、大野委員、郡山委員、重川委員、多々納委員、田中委員、永田委員、秦委員、萬年委員、山崎委員  
海堀政策統括官 他

## 3. 議 題

- (1) 今後の進め方について
- (2) 火山灰の特徴について
- (3) 富士山の宝永噴火における降灰について
- (4) 降灰による影響の想定のお考え方（交通分野）（案）

## 4. 議事要旨

- 各委員から、以下をはじめとする幅広いご意見をいただいた。
- 降灰の影響に対する応急対策に加えて事前対策も検討することが必要。
  - 被害の様相や対策を考えていく上で、火山灰の厚さと粒径の条件をどのような考え方で考慮しているのかを示すことが必要。
  - 道路への影響は、高速道路と一般の道路では規制条件等が異なるため、道路種別を区別して整理することが必要。
  - 鉄道への影響は、少ない降灰量で列車の走行に支障がでる可能性があるため、運行再開までの手順等を含めて影響を整理することが必要。
  - 航空への影響は、火山灰の厚さと飛行機の運行支障との関係を整理しておくことが必要。
  - 除灰作業に使われる資機材や除灰速度は、対象によって異なると考えられるため、整理すべき。
  - 火山灰による影響の推移を想定するため、火山灰の厚さの変化を時系列で整理することが必要。

以上